

廿日市市健康増進計画「健康はつかいち21」(第3次)・廿日市市食育推進計画(第3次)評価指標確認シート

〈健康増進計画〉

総括目標

資料 5

項目	評価指標		現状値	目標	実績 (R4年)	担当課
			第3次計画 策定時 (R3年)			
健康寿命の延伸	健康寿命(日常生活動作が自立している期間の平均)を延ばす	男性	81.6年	延伸		健康福祉総務課
		女性	85.8年	延伸		

(1)基本方針1 生活習慣の改善

項目	評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課		
			第3次計画 策定時 (R4年度)					
ア栄養・ 食生活	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人を増やす	市民	40.2%	50%以上	—	健康福祉総務課		
	朝食を毎日食べる人を増やす	1歳6か月児	97.5%	100%	98.6%	子育て応援室		
		3歳6か月児	97.3%		97.4%			
		小学校3年生	92.6%		(参考値)広島県学習意識等調査 小学校5年生(84.5%)	健康福祉総務課		
		小学校6年生	86.1%					
		中学校2年生	84.8%					
		20歳代	55.7%	85%以上	—			
		30歳代	64.7%		—			
	野菜やきのこ、海藻類を使った料理を1日に350g(小鉢5～6皿程度)食べる人を増やす	週5日以上 の市民	29.6%	現状より増やす	(参考値)食のアンケート 34.7%	健康福祉総務課		
	生活習慣病の予防や改善のために適正体重や減塩に気をつけた食生活を実践している人の割合を増やす	市民	52.1%	75%以上	—			
	適正体重を維持している人を増やす	40～60歳代 女性の肥満者	15.3%	15%未満	—			
20～30歳代 女性のやせの人		15.3%	15%未満	—				
65歳以上の 低栄養傾向の人		15.4%	13%未満	—				
イ身体 活動・運動	日常生活における歩数を増やす	男性	20～64歳	6,783歩	7,500歩	—	健康福祉総務課	
			65歳以上	5,405歩	6,000歩	—		
		女性	20～64歳	5,619歩	6,500歩	—		
			65歳以上	4,895歩	5,500歩	—		
	運動習慣のある人を増やす (1回30分以上の運動を週2日以上、1年以上継続して実施している人)	男性	20～64歳	18.6%	30%以上	8.6% (特定健診受診者の結果)		健康福祉総務課
			65歳以上	30.2%	40%以上	39.2% (特定健診受診者の結果)		
		女性	20～64歳	8.8%	20%以上	8.3% (特定健診受診者の結果)		
			65歳以上	19.1%	30%以上	32.8% (特定健診受診者の結果)		
座位時間が8時間以上の人を減らす	男性	29.5%	現状より 減らす	—				
	女性	23.8%		—				
ウ睡眠・ 休養・こころの健康	自分なりのストレス解消方法を見つけ、自己管理のできる人を増やす	成人	68.5%	75%以上	—	健康福祉総務課		
	気分障がい・不安障がいに対応する心理的苦痛を感じている者の割合を減らす(K6)	K6判定 10点以上	14.1%	現状より 減らす	—			
	睡眠による休養がとれている人を増やす	全市民	78.7%	80%以上	69.1% (特定健診受診者の結果)			
	不安、悩み、苦労、ストレスがあったときの相談機関の認知度を向上させる	全市民	54.5%	70%以上	—			

項目	評価指標			現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
				第3次計画 策定時 (R4年度)			
工喫煙	常時たばこを吸う成人を減らす		市民	12.1%	12%以下	9.3% (特定健康診査受診者の結果)	健康福祉総務課
	妊娠中の喫煙をなくす		妊娠中の女性	1.8%	0%	1.00%	子育て応援室
	自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)を有する者の割合を減らす	毎日	家庭	7.3%	3.0%以下	—	健康福祉総務課
		月1回以上	職場	17.3%	0%	—	
才飲酒	生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量※を飲酒している人を減らす		成人	男性 12.5%	10%以下	20% (特定健康診査受診者の結果)	健康福祉総務課
			女性	11.9%		25.1% (特定健康診査受診者の結果)	
	妊娠中の飲酒をなくす		妊娠中の女性	0.8% 令和4 (2022)年度 4か月児健診 問診票	0%	0.57%	子育て応援室
力歯・口腔	歯肉に炎症所見(歯ぐきの痛み、はれ、出血)を有する人を減らす	20～30歳代		15.0%	現状より減らす	—	健康福祉総務課
		40歳以上		13.5%	現状より減らす	—	
	50歳以上における咀嚼良好者(なんでも噛んで食べることができる人)を増やす		50歳以上	69.6%	80%以上	—	
	80歳代で20本以上の自分の歯をもつ人を増やす		80歳代	46.0%	65%以上	—	
	過去1年間に歯科健診を受診した人を増やす		市民	46.1%	65%以上	—	
	3歳児で4本以上のう蝕を有する子どもの割合を減らす		3歳児	1.2%	0%	1.5%	子育て応援室
	12歳児でう蝕のない児童の割合を増やす		小学6年生	75.7%	90%以上	77.4%	健康福祉総務課 (歯科保健調査)

(2)基本方針2 生活習慣病の発症予防・重症化予防

項目	評価指標			現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
				第3次計画 策定時 (R4年度)			
ア生活習慣病 予防・がん 予防	特定健康診査の受診率を上げる		廿日市市国保	37.8%	60%以上	40.7%(R6.6法定報告速報値)	健康福祉総務課
	特定保健指導実施率を上げる		廿日市市国保	20.8%	60%以上	23.1%(速報値)	
	メタボリックシンドローム該当者、予備群を減らす(平成20年度28.2%と比較)		廿日市市国保	2.4%増	25%以上減らし、21.2%未満	(R6.10月頃確定)	
	HbA1c(NGSP値)8.0%以上に該当する者の割合を減らす		廿日市市国保	1.06%	1%以下	1.25%(速報値) 特定健康診査受診者の結果	
	LDLコレステロール160mg／dl以上の者の割合を減らす		廿日市市国保	12.39%	9.29%以下	13.03%(速報値) 特定健康診査受診者の結果	
	がん検診を受けている人の割合を増やす	胃がん	40～69歳	40.6%	60%以上	—	
		肺がん	40～69歳	27.5%		—	
		大腸がん	40～69歳	34.1%		—	
		子宮頸がん	20～69歳	40.5%		—	
		乳がん	40～69歳	46.9%		—	
	要精密検査者の精密検査受診率※を上げる	胃がん		89.1%(R2年度)	90%以上	88.2%(R3年度)	
		肺がん		80.0%(R2年度)		77.3%(R3年度)	
		大腸がん		74.3%(R2年度)		79.7%(R3年度)	
		子宮頸がん		64.6%(R2年度)		79.3%(R3年度)	
		乳がん		94.2%(R2年度)		98.4%(R3年度)	

※ 現状値は、令和2年度実績(令和4年度地域保健・健康増進事業報告)。令和5年度評価数値は、令和3年度実績(令和5年度地域保健・健康増進事業報告)。

(3)基本方針3 生活機能の維持・向上

項目	評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
			第3次計画 策定時 (R4年度)			
ア生活機能	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を知っている人を増やす	市民	26.8%	50%以上	—	健康福祉総務課
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の健康教育・相談実施回数	市民	70回 (令和4年度実績)	100回	104回	
	低栄養予防指導対象者の体重維持・改善者の割合	後期高齢者	95.7%	80%以上	84.0%	

(4)基本方針4 自然に健康になれる地域づくり

項目	評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
			第3次計画 策定時 (R4年度)			
社会とのつながり・健康づくりのための基盤整備	何らかの地域活動または就業している人の割合を増やす	市民	76.2%	80.0%	—	健康福祉総務課
	地域等で共食している人の割合を増やす	市民	14.2%	30.0%	—	

〈食育推進計画〉

(1)基本方針1 健康寿命の延伸につながる食育の推進

評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
		第3次計画 策定時 (R4年度)			
食育に関心のある人を増やす	市民	73.5%	90%以上	—	健康福祉総務課

* 他は健康増進計画と同じ

(2)基本方針2 食の循環や環境を意識した食育の推進

評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
		第3次計画 策定時 (R4年度)			
食品ロス削減のために何らかの行動をしている人を増やす	市民	95.4%	100.0%	—	健康福祉総務課

(3)基本方針3 共食の推進、食文化の継承活動の推進

評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	担当課
		第3次計画 策定時 (R4年度)			
「朝食」又は「夕食」を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	市民	週9.6回	週11回以上	—	健康福祉総務課
地域などで共食したいと思う人が共食する割合を増やす	市民	51.9%	75%以上	—	
郷土料理や伝統料理などを受け継ぎ、次世代へ伝える人を増やす	市民	23.7%	55%以上	—	

(4)基本方針4 農林水産業や多様な主体との連携による食育の推進

評価指標		現状値	目標	実績 (R5年度)	市の担当課
		第3次計画 策定時 (R4年度)			
農業漁業体験を経験したことのある人を増やす	小学校 3年生	54.1%	70%	—	健康福祉総務課
	小学校 6年生	55.8%		—	
	中学校 2年生	66.4%		—	
	市民	56.1%		—	
市内の農水産物を購入している人を増やす	市民	31.9%	37%	31.4	農林水産課
学校給食における地場産業を使用する割合(金額ベース)を増やす	市民	49.6% (R5年度)	現状より増やす	49.6% (R5年度)	学校教育課